

慢性特発性血小板減少性紫斑病（ITP）に対するリツキシマブの保険適用について

このたび、抗CD20キメラ型モノクローナル抗体リツキシマブ（商品名：リツキサン注10 mg/mL）は、2017年3月2日開催の薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会において公知申請の事前評価を受け、同日より「慢性特発性血小板減少性紫斑病」に対する保険適用が認められました。

特発性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブの使用においては、慢性特発性血小板減少性紫斑病の治療に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、国内外における診療ガイドライン等を参考に、リツキシマブの使用が適切と判断される患者に対し安全性に十分配慮した上で使用いただきますようお願いいたします。

【追加される予定の効能・効果】

慢性特発性血小板減少性紫斑病

【予定される用法・用量】

通常成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量375 mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。

平成29年3月4日

日本血液学会
診療委員会

【参考資料】

1. 成人特発性血小板減少性紫斑病治療の参照ガイド2012年版、臨床血液 53, 433-442, 2012
2. Miyakawa Y, et al. Efficacy and safety of rituximab in Japanese patients with relapsed chronic immune thrombocytopenia refractory to conventional therapy. Int J Hematol 102, 654-661, 2015（成人慢性ITPに対するリツキシマブの医師主導治験）